

田中重久 たなか しげひさ 美術史學者。明治二十八年七月十七日滋賀縣甲賀郡みえぐさ水口生れ（一九〇五）。東京美術學校を経て、早稲田大學文學部卒。昭和八年聖徳太子奉讃會研究生、十一年京都市觀光局勤務、二十一年京都府立第一中學校、のち洛北高等學校勤務。寺寶調査を行ふなど、生心佛敎美術を研究。

著書 『世の京』（昭和十六年五月七日大阪・近畿觀光會「大和路」）、『京都佛畫圖説』（京都市觀光課編、昭和十六年十月十日京都寫真文化協會、京都・桑名文屋堂）、『日本に遺る印度系文物の研究』（昭和十八年九月）、『日本に遺る印度系文物の研究』（昭和十九年十一月）、『大阪・東華堂書房』、『弥勒菩薩の指』（昭和二十六年一月二十日京都・山本湖舟写真工芸部）等。

